

回復期入院患者のリハビリ意欲と身体機能改善の関係

研究の概要

リハビリテーションを施行する際、阻害因子として患者の意欲低下がある。意欲低下の原因は様々であるが、実際に意欲がないことが、どのような悪影響を及ぼしているかを研究したものは散見される程度である。

そこで過去に入院されていた回復期入院患者に対して、リハビリ意欲が身体機能の改善や退院先にどのような影響を及ぼしているかを調査・検討する。

リハビリ意欲がどのような身体機能に関わっているかを明らかにすることで、リハビリ意欲を向上させ、より円滑な退院までの流れを作る一助となると考える。

研究対象

平成 23 年 4 月～平成 25 年 10 月までに当院回復期リハビリ病棟から退院した患者

研究の意義

リハビリ意欲がどのような身体機能に関わっているかを明らかにすることで、リハビリ意欲を向上させ、より円滑な退院までの流れを作る一助となると考える。

研究の方法

当院回復期病棟に入院している際の患者基本情報と身体的データを収集することと、リハビリ意欲を決定付けるスケールを用い、それを入院中担当していたセラピストから聴取する。それらのデータを基にリハビリ意欲とそれらの収集されたデータについて統計学的手法を用い、リハビリ意欲と関連する因子を明らかにする。基本情報・身体機能については以下のデータを使用する。

基本情報 年齢、性別、身長、体重、発症日、疾患種別、既往歴、日常生活自立度、転倒転落危険度、Pittsburgh Rehabilitation Participation Scale (PRPS)
身体的情報 10m 歩行速度、重心動揺計検査（総軌跡長・動的可動域）、Functional Independence Measure (FIM)、Mini Mental State Examination (MMSE)
社会的情報 家族構成、家庭内役割、家族介護力、職業の有無
共同研究機関
なし

個人情報に対する配慮

入院中に使用したデータをもとに研究利用させていただきます。院内に保管している患者様の個人情報は院外に出ることがないように厳重に保管しています。また、研究に利用するデータは患者様個人が特定されない方法で利用させて頂いています。

患者様もしくはご家族様がこの研究へのご参加を希望されない場合には以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方のデータは本研究に利用しないように致します。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒512-1111 三重県四日市市山田町 5538-1

小山田記念温泉病院 リハビリテーション科 小崎琢也

TEL 059-328-1260 FAX059-328-1921